



～ きらめかせ最高の笑顔 輝く瞬間が宝物 ～

さくら小学校 校長 大砂 直樹

運動会のスローガンは、子供たちが考え、練り合い、決定しています。ですので、スローガンの言葉には、子供たちの思いが込められています。

「運動会を最高の笑顔で楽しみたい」「今、この瞬間こそ、かけがえないものなんだ」と、このような思いが伝わってくるとともに、子供たちの感受性の豊かさに関心させられます。

さて、10月11日（土）、澄み渡る青空の下、大勢のご観覧の中実施することができた運動会、いかがだったでしょうか。

笑顔あり、悔しそうな顔あり、と様々な表情を見せてくれた子供たち。表情は様々でも、最高の笑顔に向けて、その瞬間、瞬間に精一杯取り組んでいた子供たちの思いは、存分に伝わってきたのではないのでしょうか。

運動会のような学校行事は、子供たちの自主的、実践的な態度を育てる場でもあります。

スローガンの話し合い、応援、ダンス、徒競走、リレーなどの練習、運動会係、テント準備など、運動会は当日までに多種多様な活動を行っています。

子供たちが、「自分たちでやりきった感動」を味わい、小さな成長につながっていくことを願っています。



大接戦の全力疾走



心を一つにした表現

応援団長から...



応援合戦では、緑組のみなさんが大きな声を出してくれて、とても盛り上がりました。みんなの応援が、緑組の優勝を導いたと思います。最高の運動会になりました。 1組 要

赤組のみんなで一致団結し、心を合わせて精一杯の応援をすることができたと思います。準優勝という結果でしたが、最高に楽しい運動会になりました。 2組 悠樹

ぼくは応援団長として、グループ全体を声で引っ張り、全体を盛り上げることができました。下級生も大きな声を出してくれたので練習の時より、いい応援になりました。 3組 峻翔

ぼくは応援団長として、黄組のみんなを引っ張るために大きな声を出して応援することを心掛けました。本番は黄組全体が一つとなり、大きな声で応援することができ、最高の運動会になりました。 4組 蒼生